



院長 池澤 滋

感染症情報 5/19～6/22	前回	今回
アデノウィルス	3	4
溶連菌感染症	16	15
感染性胃腸炎	60	57
水痘（水ぼうそう）	2	1
手足口病	0	5
りんご病	0	3
突発性発疹	8	12
おたふく風邪	4	4
ヘルパンギーナ	0	13
ヒトメタニューモ	0	0
新型コロナ	2	2
インフルエンザ A	0	0
インフルエンザ B	1	0



★クリニック予約
★クリニックホームページ
★いけざわ beauty (インスタ)
★クリニック Instagram
こちらから→ → →



サクタロウが 教えてくれたこと

「10 歳だよ。だから人間なら 60 歳くらいかな」
触ってもいいよとサクを近づけると、ちょっと怖がる。慣れない様子で、「飼いたいって言うてるんだけど」とお兄ちゃんと弟。そこに小さい子を抱いたお母さんがやってきて、「この子が生まれたから今はちょっと」と、上の子に気をつかいながら話していた。

以前は動物のことを「重荷」だと思っていた。

だってサクタロウがうちに来てからの10年、私たちは海外にも行ったし、サクのために何かを我慢したかと振り返っても、苦労と呼べるほどのことはなかった。

ペットホテルもあるし、知り合いにお願いすれば預かって
もくれ、留守の時は朝晩の散歩も助けてくれた。なのに飼
う前は、大変なことばかりを想像して、子どもの希望を叶
えなかった。十分に叶えられたはずだったなあと、今さら
ながら後悔する。こう考えると、子どもを持つことも同じ
かもしれない。




實話

「小児科にエンタメを♪」

「こどもって大変じゃない？そう言われることもありますが、だから面白い！を伝えたい。これからも楽しんでいただけると嬉しいです。」

4コマまんが
作・絵
ちえこ&きみこ



結婚し、一人目が生まれ、二人目が生まれ…。
その頃の私はもう三人目は無理だと思っていた。
3歳の長男、1歳の長女を前にして、食事だけでなく、身の回りの世話、お稽古事や塾も始まるだろう。そんな当てのない不安を先取りして、「大変大変」とよく口にしていた気がする。でも、振り返ってみると
 この人生で子育てほど充実し、楽しかった
ことはない。お化粧もせず、子どもと一緒に
寝落ちしたあの日々。もっと素直に、幸せだけを見
つめられていたら子育ても、たとえば動物を飼うこと
も、もっと違ったかたちで我が家にあったのかもしれ
ないなあと、ふと思う。もちろん、気軽な気持ちで飼
うのはよくないし、最後まで責任を持つ覚悟が要る。
でも、動物がいることで起こる小さな問題を、家族で
どうしようかと頭を寄せ合って考えたり、一緒に乗り
越えたり、喜んだり。散歩だって、大変と捉える人と
楽しいって思う人がいるように、物事をポジティブに
捉えられたらどんなに幸せだろう。今、自然の中で生
きている実感を持てるのも、サクタロウのおかげ。夜
更かししてもサクのために起きること、散歩するこ
と。白い息を吐きながら初日の出を一緒に見て、夏に
は一緒にハーハー言い、台風をやり過ごす。サクタロ
ウを通して、私たち家族は成長したんだと思う。

今、サクトロウは 10 歳。
いつか必ず、お別れの時はやってくる。
その時の悲しみも、きっと私たちを育ててくれる気が
している。



文責 池澤千恵子